

**第 28 期 日本文化人類学会
2018年度 第1回 評議員会 議事録**

日時：2018年4月1日（日）14時～16時

会場：国際文化会館 講堂

<出席者>

青木恵理子、東賢太朗、綾部真雄、石井美保、伊藤泰信、上杉富之、宇田川妙子、梅屋潔、奥野克巳、風間計博、亀井伸孝、川口幸大、川田牧人、栗田博之、栗本英世、佐々木史郎、椎野若菜、関根康正、高野さやか、棚橋訓、田辺明生、中川理、浜田明範、松村圭一郎、森田敦郎、森山工、山本真鳥

<委任状提出>

赤堀雅幸、飯嶋秀治、飯田卓、石田慎一郎、伊地知紀子、春日直樹、岸上伸啓、木村周平、窪田幸子、後藤明、佐々木重洋、鈴木正崇、曾我亨、高倉浩樹、出口顯、中谷文美、速水洋子、古谷嘉章、三尾裕子、箭内匡

議長：松田素二（第27期会長）

〔議題〕

0. その他（印鑑証明書の提出と法人登記の手続きについて）

- ・川田第27期庶務担当理事より、事前に評議員へ依頼していた印鑑証明書の提出に先立ち、法人登記の手続きについて以下の点が説明された。
 - 1) 定款には設立時社員の戸籍登録名以外での登記ができない。
 - 2) 通称名での登記は一切できない。
 - 3) ただし、カッコ書きで旧姓の併記はできる。
 - 4) 定款は非公開の文書として公開の義務を伴わないので、学会ホームページ等に登載して任意に公開する場合には、設立時社員の住所・氏名等の一切を省略（非表示）することができる。特に、4) について、評議員会における議論の結果、定款のホームページや学会誌などのあらゆる公開に際し、設立時社員（代議員）の住所・氏名を非公開とすることが承認された。
- ・次回評議員（代議員）選挙からは選挙案内とともに、上記の代議員や役員に求められる手続きや法務局で閲覧可能となる事項などを明記してはとの提案があり、次回選挙時に検討することとした。
- ・最新の定款案について評議員会へメール配信することを確認した。

1. 第 28 回評議員選挙報告

- ・川田第 27 期庶務担当理事より以下について報告がなされた。

①第 28 回評議員選挙の経過報告

②第 28 回評議員選挙結果の確認

③会則第 12 条の 3 に基づく評議員の任務について

2. 理事の選出

- ・第 28 期評議員の互選により第 28 期理事が選出された。

3. 会長候補の選出

- ・会長候補選出手順に基づいて、清水展会員を第 28 期会長候補に選出した。

4. その他

- ・第 27 期理事・各種委員の任期について、新旧合同理事会まで第 27 期総務会・理事会が担当することを確認した。
- ・第 52 回研究大会時の評議員会、総会日程（予定）について確認した。
- ・佐々木史郎評議員より、国立アイヌ民族博物館の開館準備に関する報告と、アイヌ人骨に関するラウンドテーブルについての説明があった。このラウンドテーブルはこれまで北海道アイヌ協会、日本考古学協会、日本人類学会の三者によって行われ、本学会は関わってこなかったが、先日より本学会からの委員として太田好信会員が参加していることが報告された。

以上